

第9号

令和4年11月30日発行

自主学習通信



～引き出せ！子どもの力！！～

大阪市教育局事務局
第2教育ブロックグループ

令和4年8月30日実施

「児童生徒の自主学習習慣の確立に向けた教員研修」
～学びが変わる!子どもが変わる!!自主学習～
講師 森川 正樹 先生（関西学院初等部教諭）

第2教育ブロックで推進している「児童生徒の自主学習習慣の確立」に向けた学校での取組のさらなる深化充実をめざすため、講師に関西学院初等部教諭の森川 正樹先生をお招きし、

～学びが変わる!子どもが変わる!!自主学習～

をテーマとした研修会を実施しました。



当日は、小学校87名、中学校16名、その他14名の計117名の方々が熱心に森川先生のご講演に耳を傾けておられました。今回の自主学習通信は、研修会当日の様子をダイジェスト版でお届けします。また、森川先生のご厚意により、現在「waku×2.combee」にて今年度末までの期間限定で当日の様子を収録した動画をノーカットで公開中です(視聴方法は次頁参照)。本通信と動画を併せてご覧いただくことで、より一層、自主学習への理解が深まるはずです。ぜひ、明日からの実践にご活用ください!

自主学習ですぐに活用できる具体的な取組がたくさん出てくるでござるよ!



研修会動画の視聴方法

「waku×2.combee」 > 「**自主学習 森川先生**」で

検索

戻る 自主学習 森川先生 検索

☒ キーワード ☐ 自然文 ☐ ID検索

タイトル+詳細内容 で検索 スペースで区切った言葉を すべて 含む

☒ 添付ファイルも検索

属性で絞り込む ▶ 登録日 yyyy/mm/dd ~ yyyy/mm/dd クリア
▶ 更新日 yyyy/mm/dd ~ yyyy/mm/dd
▶ 教科・領域等

コンテンツID : 16836 ★まい度27 最終更新

📁 わくわくコンビー > 令和4年度オンデマンド資料検索 > 第2教育ブロック主催「児童生徒の自主学習習慣の確立に向けた教員研修」

Q 第2教育ブロック主催「児童生徒の自主学習習慣の確立に向けた教員研修」(令和4年8月30日実施)
質問

～学びが変わる！授業が変わる！！自主学習～ 講師 関西学院初等部教諭 森川 正樹 先生



とき：令和4年8月30日 16：00～17：00
会場：福島区民センター

自主学習は極上の遊び

森川先生のお話 その①



ピックアップ！

自主学習は「極上の遊び」です!!

知的好奇心、自尊心を高める
ことが大切です!!

自主学習のいいところは、何と言っても「子どもたちが自分の好きなことから始められる」というところです。

私は、自主学習は、「極上の遊び」だと思っています。子どもたちは何でも遊びにしよう力があるので、遊びのような感覚で取り組ませるとよいのではないのでしょうか。自主学習の入口は遊びからでも、そこからノート見開き2ページに内容をまとめられるよう導いていくことで、学ぶ力がついていきます。その力が結果として子どもたちの「学びを止めないこと」にもつながるのです。

そして、「できた!」と子どもたちが感じることで、知的好奇心が満たされたり、自尊心を高めたりすることが大切だと思います。

そのために、子どもたちが取り組んだ自主学習に対し、スタンプやシールをつけること等、「評価の見える化」をして、子どもをほめ、認めることが重要です。



「自分の好きなこと」に
取り組むことから自主学習
を始めるでござる!



「自学コンテスト」より

森川先生のお話 その②

ピックアップ!

全国で募集している「自学コンテスト」大賞の「おじいちゃんの畑探検隊」です! 「この自主学習のよいところはどこでしょう?」

「この自主学習を見て、感じたことを先生方にお聞きします!」(森川先生が参加者の方々にインタビューをし、6名の先生方が発言)

この自主学習は、私が審査員をしている「自学ノートコンテスト」で大賞をとったものです。この自主学習ノート「おじいちゃんの畑探検隊」を見て、皆さんはどう思われますか。

～研修参加者に感想を聞く場面～

- 「言葉だけでなく絵や写真がある」「タイトルが野菜の文字になっている」
- 「写真の切り方や貼りにインパクトがある」
- 「とったどー!という言葉がよい」等の感想を述べる先生方



このように子どもたちに感想を聞き、「子どもたちの自主学習に対する声」が教室に溢れるようにします。またその際には、先生と子どもの「縦の関係」のみで感想を伝え合うのではなく、子どもたち同士の「横の関係」を作るような働きかけや活動があると良いですね。

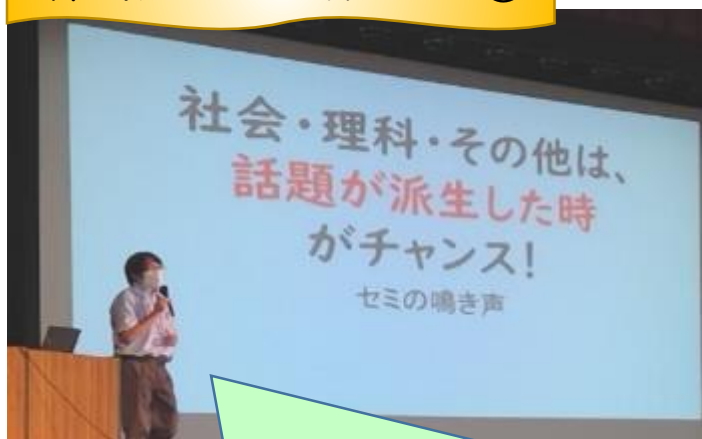
教育活動を進めるにあたっては、子どもたちが「主体的か」「対話的か」「思考しているか」を私たちは意識しなくてはなりません。自主学習でも、子どもたちにこの観点に基づいた指導を心がけたいところです。

子どもたち同士で、自主学習を見合って、感想を伝え合うでござる!



授業と自主学習の連動

森川先生のお話 その③



ピックアップ!

授業で話題になったことから、自主学習につなげるヒントを提示しましょう!!

授業と連動させる自主学習では、授業で話題が派生したときがチャンスです。

例えば、理科の3年生「昆虫」の学習で、セミの鳴き声についての話題が出た場合、子どもたちにすかさず

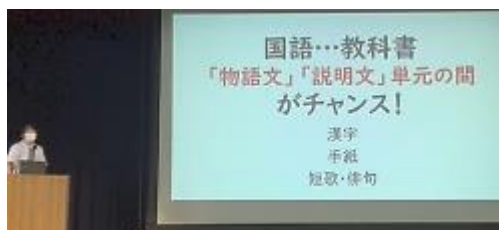
「今、自主学習でセミについて調べようと思ってる人がいるんじゃないかな？」

と、提案しておくと、自主学習で調べてくるかもしれません。

社会科では、6年生の歴史も取り組みやすいですね。国語科では、新出漢字の学習後「同じ偏の漢字調べ」もできます。物語文や説明文の単元の間にも取り組めることがあるのではないのでしょうか。

授業で子どもとの話の中で出てきたことを、自主学習に結び付けること、子どもが楽しみながらできそうな自主学習を提案していくことを大切にしてほしいですね。

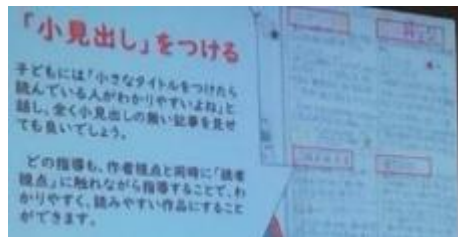
子どもたちが取り組みやすいテーマのヒントを提示することも大切なポイントですね。



授業の中で自主学習につながる話題を提示することで、子どもが取り組みやすくなるでござる!!

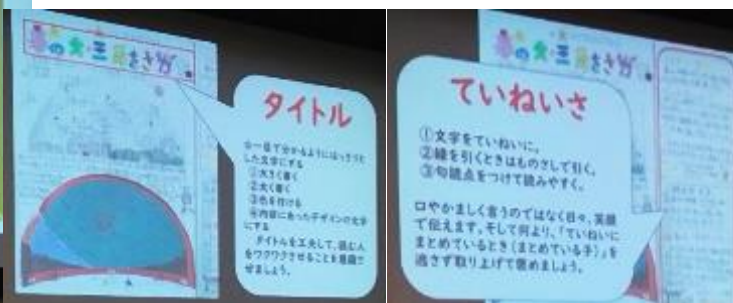
ストロングポイント

森川先生のお話 その④



ピックアップ!

あなたのストロングポイントはどこですか？
➡それは、取材力ですね!!



自主学習ノートを見合う際には、子どもに「あなたの自主学習のストロングポイントはどこですか？」と聞いてみてください。

例えば、先程の「おじいちゃんの畑探検隊」の自主学習では、子どもが自分のおじいちゃんに取材し、おじいちゃんがこれまでに書きためられた畑仕事に関する「秘蔵メモ帳」を見せてもらっているのです。とっておきの情報を聞いているので、この子どものストロングポイントは、「取材力」です。ストロングポイントには、他にもたくさんあります。

ストロングポイントの例

「タイトル」…はっきりした文字で、色やデザインを工夫する

「ていねいさ」…ていねいに文字を書き、定規を使って線を引く

「部屋」…記事を見やすく整理する

「小見出し」…読む人がわかりやすいように、小さなタイトルをつける

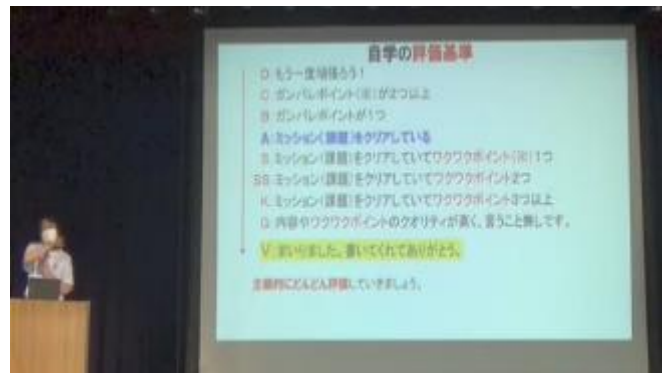
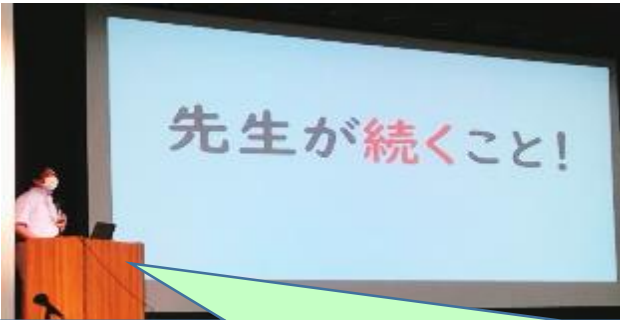
「感想・考え」…自分の感想や考えを書き、「まとめ」をつくる

その他、「吹きだし」「写真」「イラスト」「クイズ」「経験」等

このように、「ストロングポイント」を示しながら、子どもが自分で意識できるようにしていくことが大切です。子どもたちが、自分の自主学習の「ストロングポイント」を一言で言えるようになれば、子どもたちはそれをよりどころにして、より意欲的に取り組めるようになるはずです。

先生が続くことが大切

森川先生のお話 その⑤



ピックアップ!

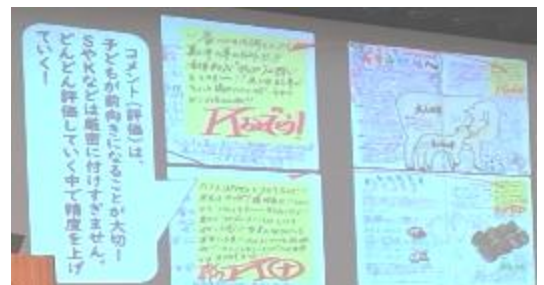
自主学習の取組で大切なことは、
「先生が続けられること」です!!

これまで日記指導などで最初は毎日コメントしていたのに、続かなくなって自然消滅した経験はありませんか。自主学習の取組は、「先生が続くこと」を基準にペースを決めてください。先生方が継続できることが大切です。子どもの書いた自主学習を毎日評価することが難しい場合は、1週間に1回とかのペースで評価するのも構いません。

評価するときには基準を子どもへ示しておきます。例えば、事前に「今回は見やすく効果的なタイトルと、ていねいな字を意識しよう」と伝えておき、提出されたノートの評価する際もその部分を中心に評価します。評価には、意欲を高められるようなコメント等をつけ、子どもの自主学習へ向かう気持ちを継続させるのもよいですね。先生の評価やコメントを見た子どもたちの嬉しそうな表情は、何よりのギフトです。



先生の評価とコメントで、子どもがどんどん意欲的になっていくでござるよ!



付箋で評価とコメントをつけています!

森川先生より 最後に一言! ~みなさんに伝えたいこと~

最後に、先生方に意識していただきたいことをお伝えします。

わたしたち教師は、授業がいちばん大事です。

例えば、自主学習についても子どもたちに授業の中で取組のきっかけを与えることが重要です。「授業を軸に」を意識して、自主学習に取り組んでいただきたいと思います。

参加者の感想より



- ◎子どもたちが書いたノートを提示していただき、良いイメージをもつことができた。
- ◎自主学習は「おもしろく楽しい学習」であることを児童生徒に伝えていきたい。
- ◎児童生徒の「ストロングポイント」を明確にすることで、自主学習の取り組み方が変わりそうだった。
- ◎子どもたちがお互いの頑張りを認め合えるような機会を、授業や自主学習を通して作ることが大切だと感じた。
- ◎自主学習ノートを班で交流し合ったり、友達の自主学習のコピーを自分のノートに貼ったりする活動を取り入れてみたい。
- ◎各教科における、自主学習のきっかけづくりを教えていただき参考になった。
- ◎「先生が継続できる範囲で取組を進めることが大切である」との考えは新しい視点であった。
- ◎評価のポイントを明確にすることで、子どもたちのやる気や継続する力が培われるのだと思った。スタンプやシールで評価したり、短くてもコメントを書いたりして評価していきたい。
- ◎研修で学んだことを校内にも伝えていきたい。



次頁より、感想にあった質問と森川先生からのご回答を紹介するでござる！！

自主学習に取り組んでいく上で、参考になるでござるよ！！





参加者からの質問と森川先生によるご回答

参加者からの質問に、後日、森川先生から詳しくわかりやすいご回答をいただきましたので、ご紹介します。



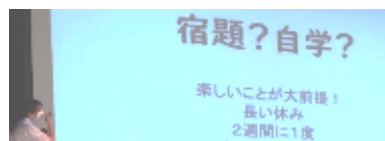
質問 1

みなさんからの質問にお答えします!

Q: 自主学習を学級で一斉に始める場合、宿題で自主学習ノートを提出させるのではなく、自発的な取り組みとしたいとすれば、どのように声をかけてスタートさせればよいですか。

A: 子どもも大人もイメージできないことはなかなか取り組みません。逆にイメージできていることは、そこへ具体的に迫ることができます。自主学習においては、最初に「こういうものを作っていくのです」と明確に示してあげることが、一気に自主学習の世界に誘う手立てなのです。あと、〈憧れ〉を抱かせる、ということですね。

質問 2



Q: 自主学習の習慣がなかなか身に付かない子どもがいる場合は、宿題と自主学習は別物として両立させていくほうがいいのですか。

A: そうですね。基本的に「宿題」は単発、「自主学習」は継続して完成させるといったイメージで取り組ませています。なので意欲的に取り組めるように一定期間を設けて、楽しんで取り組ませたいですね。

質問 3

Q: 自主学習ノートは、毎日の宿題に入れているのですか。それとも自主学習ノートが見開き2ページ出来上がれば、その段階で提出という形にしているのですか。自主学習ノートの提出のさせ方を知りたいです。

A: 例えば金曜日に自主学習を出したとして、水曜日締め切りね、ということにして水曜日に提出させます。早くできた子は「提出場所」に先に出します。私はこのようにしていますが、ご自身で取り組まれながら「継続しやすい環境」を確立されるといいですね。

質問 4



Q: 自主学習に対して消極的な子どもへのアプローチはどうすればよいですか。

A: まずその子の「好きなこと」について話を聞く事です。「上機嫌で話させてあげる」。早く「作品」を作らせようと焦るのではなく、まずは土台作りからだと思います。その後自主学習を書くときの観点を1つずつ与えてあげます。「タイトルだけは頑張ろう」という具合に。頃合いを見て「すごい自主学習」を見せて憧れさせます。

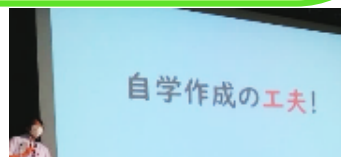
質問 5



Q: 自主学習ノートを毎日やろうとすると、どうしても漢字の復習や計算、テスト勉強になってしまいます。宿題もあるので自主学習をする時間がないという子どもの声もあります。ゲームや動画など、子どもにもやりたいことがある中で、楽しんで自主学習に取り組むようにしたいのですが、どうすればいいのか悩んでいます。

A: 単純に自主学習に取り組ませる頻度を「継続出来る頻度」に変える事です。自主学習は基本的に意欲的に取り組めるような環境にしたいので、子どもたちが無理なく時間をかけられるような頻度を探してみてください。例えば金曜日に自主学習を出したら、締め切りを次の週の水曜日にするとか。そうすれば他の宿題と被っても少しずつ進めていけますよね。教師も子どもも続けられる、それが大切です。

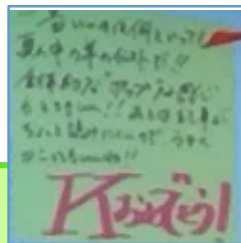
質問 6



Q: 自主学習ノートを見開き2ページにまとめるという方法は、対象が3年生でも当てはまるのですか。

A: 「自学ノート図鑑」を見ていただければわかりますが、1年生でも6年生でも取り組みます。要は「当てはまるか」ではなく、「そのフォーマットでまとめさせる」という事です。枠を設けてあげる。学年に応じて、求める内容や情報量、デザインを変えていく、という事です。

質問 7



Q: 評価の指標に出てくる「K」は何の頭文字なのですか。

A: K = キングの頭文字です。

他にも、S = スペシャル、G = ゴッド、V = ヴィシュヌ(子どもが調べて考えたインドの神様の名前)など、子どもたちと話しながら頭文字を決めています。

【参考】森川先生の著書『究極の自学ノート図鑑 解説編』より
◎究極の自学への評価基準

D: もう一度頑張ろう。

C: ガンバレポイント※が2つ以上

B: ガンバレポイントが1つ

A: ミッション(課題)をクリアしている

S: ミッション(課題)をクリアしていてワクワクポイント※ ※ 1つ

SS: ミッション(課題)をクリアしていてワクワクポイント2つ

K: ミッション(課題)をクリアしていてワクワクポイント3つ以上

G: 内容やワクワクポイントのクオリティが高く、言うことなし!

V: まいりました! 書いてくれてありがとう

※「ガンバレポイント」は、「もう少し頑張って書こうという箇所」のことをそう呼び、親しみやすくしています。

※※「ワクワクポイント」につきましては、『小学生の究極自学ノート図鑑』(小学館)をご参照ください。

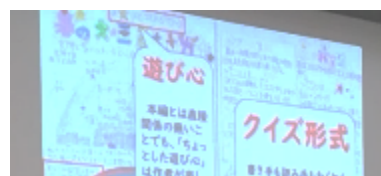
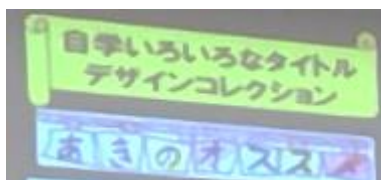


質問 8

Q: 自主学習ノートによって子どもの自尊心を高めるには、どこからアプローチすればよいのですか。

A: ピンポイントで褒める事です。「字が丁寧だねえ」「デザインが優れているなあ」「面白いテーマを見つけてきたねえ」…そうして毎回認めていきます。そして教室で子どもたちに紹介します。先生に褒められること、みんなの見本になることは、子どもたちのモチベーションを高めます。それを地道に日常的に隙間隙間で行なっていくのです。その後は、「感想」の部分に1番のリアクションポイントをとってあげてください。調べるのも絵を描くのもよく頑張ったけれど、何より「こんなことを知った」「こんなふうになった」「これからこうしたい」というような変身したことについて書かれた感想のところで、1番大きく評価してあげるとよいでしょう。

質問 9



Q: 自主学習を行うにあたって、どうしても継続させることに重きを置きがちになりますが、内容の質的高まりを見せるきっかけやポイントは何かですか。

A: 質的に評価できる自主学習を提出した子の作品を頻繁に紹介することでですね。そしてみんなの前で価値づけます。その時は「観点」が明確であるということです。例えば、「〇〇さんは『事実と意見』をきちんと書き分けているよね。だから引用したものなのか、自分の考えなのかがよくわかる。調べ学習をするときはこういうことがとっても大事なんです」というふうに。ただ、「ただ続いている」という状態もそれはそれで子どもたちにとっては素晴らしいことです。まずは粘り強く継続性を求めてよいと思います。私たち教師はつい、「させたいこと」が優先し過ぎてしまうことがあります。こと「自主学習」においては、「自主学習」なので、まずは自分で無理なく取り組めること、楽しみながら取り組めることをめざしたいですね。

編集後記

- 今回、「児童生徒の自主学習習慣の確立に向けた教員研修」を実施したところ、第2教育ブロックを中心に多数ご参加いただき、先生方の自主学習に対する大きな関心と熱意を感じることができました。ご参加いただいた方々に改めて感謝申し上げます。
- また、講師の森川先生におかれましては、子どもたちの自習学習ノートを紹介していただきながら、熱のこもったご講演をしていただきました。

森川先生、お忙しい中ありがとうございました。

自主学習習慣の確立のさらなる取組の充実に向けて、ダッシュでござる！

